

満足度調査（2020年度） 分析結果

学習支援センター

2021年3月2日

本資料は、2020年12月14日から2021年1月25日にかけて学修支援センターが実施した「学修状況・満足度調査」に関して、満足度に関する部分の回答内容を分析したものである。今回の調査は2018年度・2019年度と同じ質問項目で全学部・全学年向けに実施した。また、これ以前に同様の目的で実施した調査として、2016年度「学生生活満足度調査」（全学部・全学年対象、無記名・抽出調査）、2017年度の「新入生調査」（全学部1年生対象、悉皆調査）がある。

調査は、本学が学生に提供しているWebサービスを用いる方法で行った。実施に際しては、これまでと同様、学修支援センターに在籍する教務委員の方々を中心にそれぞれの学部の取りまとめを行っていただいた。

回答状況を表1に示す。人数が少ない学部・学年もあるが、全学部・学年より回答が得られた。全在籍者数に対する回答率は23.6%と、前回の45.9%より22.2ポイントも低い結果となった（前々回は27.6%）。前回の回答数と比べると、学部別では1/2～2/3程度、学年別では1年生の減少が大きい。前回の分析では、学生がWebサービスでの調査方法に慣れてきたことと教職員向けに調査の趣旨などの周知を強化したことを、回答率向上の理由にあげた。今回は、本学の新型コロナウイルス感染拡大防止対策などで例年よりも学生に連絡・調査依頼する機会が増えたことや、教職員向けに調査の趣旨などの周知不足が、回答率減少の理由と考えている。

表1 回答状況（学部・学年別）

	総合経営学部	社会学部	ソフトウェア 情報学部	薬学部	学年計
1年生	35名	15名	21名	17名	88名
2年生	32名	16名	21名	18名	87名
3年生	26名	14名	8名	5名	53名
4年生	17名	11名	8名	13名	49名
5年生				8名	8名
6年生				6名	6名
学部計	110名	56名	58名	67名	291名

調査における質問項目をこの資料の最後に添付する。本調査では、学修支援に関して授業の難易度や支援の必要性を、学生支援に関して健康面・経済面等の支援の必要性を尋ねた。また、それぞれについて質問の後に満足度と判断理由を回答してもらった。さらに、今後の改善に向けた意見・アイデアを募っている。

以降、それぞれの質問に対して、前期調査との比較も含めた分析結果をまとめる。なお、質問1は、学

修時間に関する項目であり、こちらの分析は「学修状況調査（2020 年度）分析結果」にまとめている。

質問 2. 「学修支援」の必要性と評価

質問 2 は 6 項目で構成されており、このうち(ア)～(エ)では学修支援に関する状況把握と支援の必要性を回答する形式となっている。回答は、「そう思う」から「そう思わない」までの 4 段階と「分からない」の中から選択させた。図 1～4 の配色は、次のようにしている。

回答内容

■ : 「そう思う」、 ■ : 「どちらかといえば、そう思う」、 ■ : 「あまりそう思わない」、
■ : 「そう思わない」、 ■ : 「分からない」、 ■ : 未回答

平均的な授業の難易度についての学部別回答分布は、図 1 のようになった。全学平均では「そう思う」が 7.9%と「どちらかといえば、そう思う」が 29.9%で、合わせて 37.8%となった。この合計値は、前々回（2018 年度）が 49.54%、前回（2019 年度）が 39.4%で、前々回から前回にかけては「そう思う」を中心に減少したものの、前回と今回はほぼ変わらなかった。学部別では、総合経営学部が 40.9%と前回より 6.4 ポイント増え、他の 3 学部は数ポイントずつ減少している。総合経営学部は昨年度減少分が概ね元に戻り、他の 3 学部は減少が続いている。

学年別（5 年生と 6 年生は回答が少ないため含めない）では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、昨年度は学年進行にともなう変化はあまり見られなかったが、今回は 1・2 年次で 4 割以上と高めで、3・4 年次は 3 割を切る状況であった。

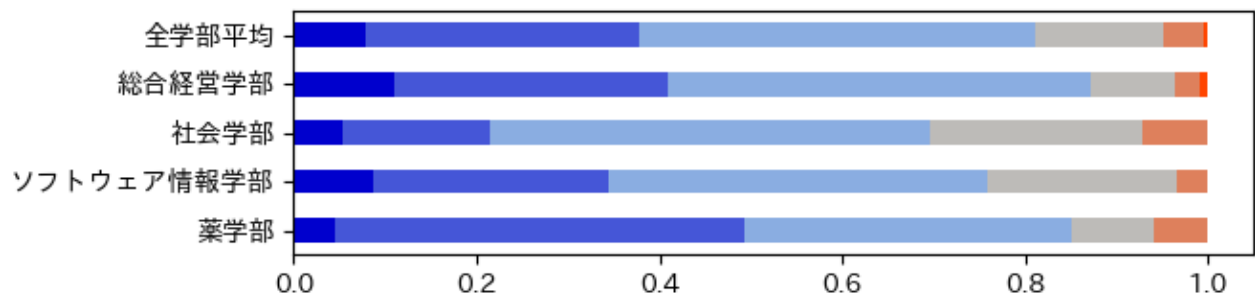


図 1 「2(ア) 本学で受けている授業の難易度は、全科目を平均するとかなり難しいと思っていますか」の回答分布

また、普段の授業で難しさを感じることもあるかを問うたところ、回答分布は図 2 のようになった。質問内容が近いため、ソフトウェア情報学部以外の 3 学部では結果は 2(ア)と同様であった。ソフトウェア情報学部では「そう思う」の割合が 2(ア)よりも 10 ポイント程度も多く、学年別の結果も加えると、2 年次において学生にとって難易度の高い科目が存在しているとみられる。

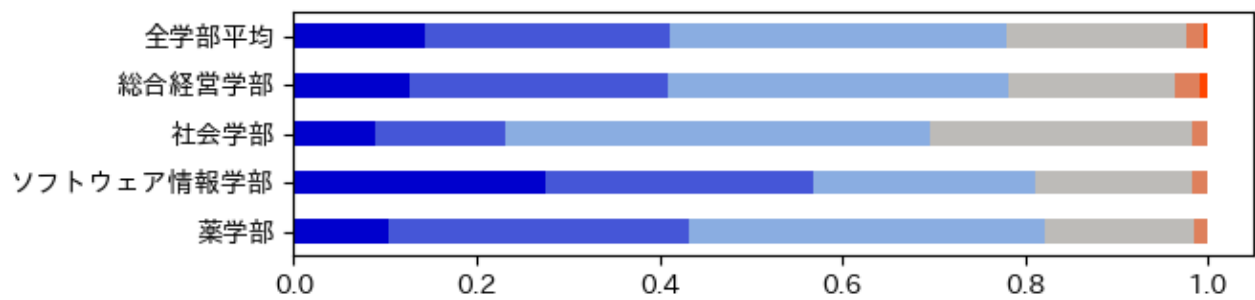


図2 「2(イ) 難しく理解できない、または授業のペースに追い付けないと感じることはありますか」の回答分布

学修に対する支援が必要と思うかどうか尋ねたところ、結果は図3のようになった。グラフの形は全体的に2(ア)や2(イ)と似ているが、薬学部では「そう思う」と回答した割合が20.9%、「どちらかといえば、そう思う」を合わせると61.2%と、昨年度と同様高い結果となった。その他の学部でも何らかの必要性を感じている率は4～5割以上と高い。学年別では、前回は「そう思う」や「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は1・2年次で高くその後は落ちていたが、今回は2年次が60.9%でもっとも大きく、他学年でも5割程度となった。今年度は新型コロナウイルス感染防止対策が影響を及ぼしているか、2(カ)の自由記述欄の分析や今後の調査での推移を調べる必要があると考えられる。

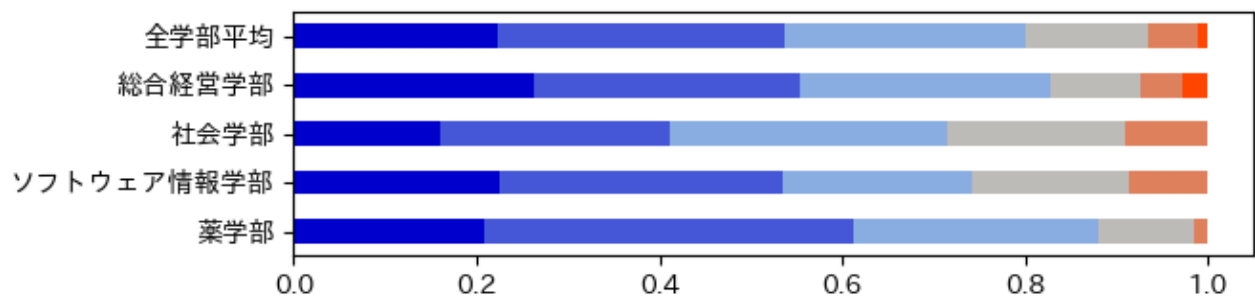


図3 「2(ウ) 学修に関して支援が必要だと思っていますか」の回答分布

支援を必要としている学生が、実際に本学で提供している学習相談窓口やオフィスアワーなどの利用を考えるか確認した結果は、図4のようになった。2(ウ)での支援の必要性と比べると、昨年度と同様にソフトウェア情報学部の率が大きく減り、他の学部も一定率減少している。これらのことから、支援が必要と考えているものの、実際に行動につなげようとしていない学生が一定数居るのではないかと考えられる。

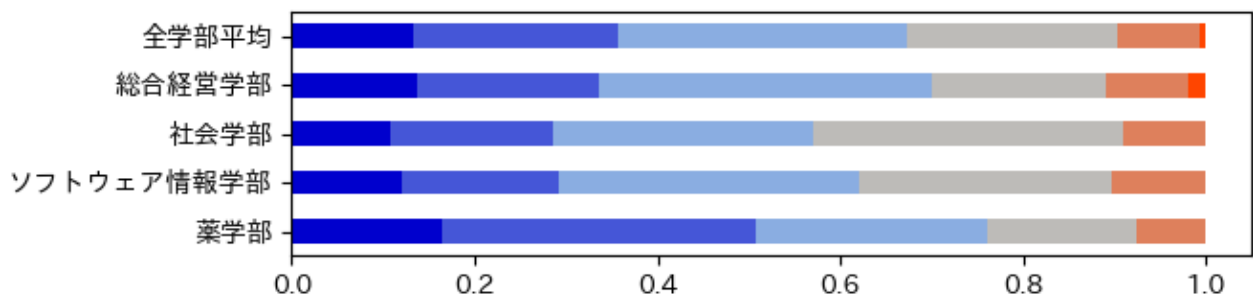


図4 「2(エ) 学習相談窓口やオフィスアワーなどを利用したいと考えることはありますか」の回答分布

(ア)～(エ)を踏まえ、2(オ)では学修支援に対する満足度を尋ねた(図5)。この質問では、「満足」から「不満」までの4段階と「分からない」の中から回答を選択させた。図5の配色は、次のようにしている。

回答内容

- : 「満足」、■ : 「どちらかといえば、満足」、■ : 「どちらかといえば、不満」、
- : 「不満」、■ : 「分からない」、■ : 未回答

回答分布を見ると、全学的には「満足」が10.3%と低いが、「どちらかといえば、満足」を合わせると56.0%と、ほぼ前回と同じ結果となった。残りの回答では「分からない」が14.1%と多めで、「不満(7.2%)」と「どちらかといえば、不満(21.6%)」の合計は28.9%であった。2018年度調査では総合経営学部が高く薬学部が低い傾向が見られたが、前回と今回は学部間の差はほぼ無く全学部平均ではすべての回答率がほぼ同じであった。学年別では、4年生の満足度が低い。

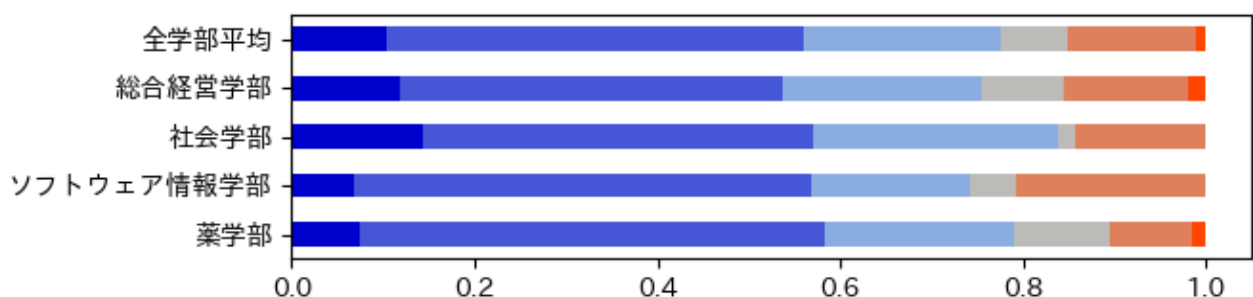


図5 「2(オ) 学修支援や学修環境についての満足度を、選択肢から選んでください」の回答分布

2(カ)では、前問(オ)の回答理由を自由記述形式で尋ねた。全体の記入率は59.8%と、6割程度の学生が回答した(前回は4割程度)。「満足」の理由としては、授業時の教員の工夫や困った際の支援等が、「どちらかといえば、満足」ではこの二点と合わせて学修環境の充実や特待生制度等が、それぞれ多くあげられている。一方、「不満」と「どちらかといえば、不満」の理由には新型コロナウイルス感染を危惧する内容や、授業の妨げとなる学生が居ること、及び学修環境に関する不満が多い。

質問 3. 「学生支援」の必要性と評価

質問 3 は 7 項目で構成されており、このうち(ア)～(オ)では、学生支援に関する状況把握と支援の必要性を尋ねている。回答は、質問 2(ア)～(エ)と同じく、「そう思う」から「そう思わない」までの 4 段階と「分からない」の中から選択させた。図 6～10 の配色は、次のようにしている。

回答内容

■ : 「そう思う」、 ■ : 「どちらかといえば、そう思う」、 ■ : 「あまりそう思わない」、
 ■ : 「そう思わない」、 ■ : 「分からない」、 ■ : 未回答

初めに、心身の健康維持に対する支援の必要性を尋ねた (図 6)。全体では「そう思う」が 13.4%、「どちらかといえば、そう思う」が 22.3%で、合わせて 35.7%が必要性を感じている。学部別では、社会学部は学部間でもっともこれら二つを合わせた割合が高いが、率は変わっていない。他の 3 学部は前回よりも数ポイント増加した。

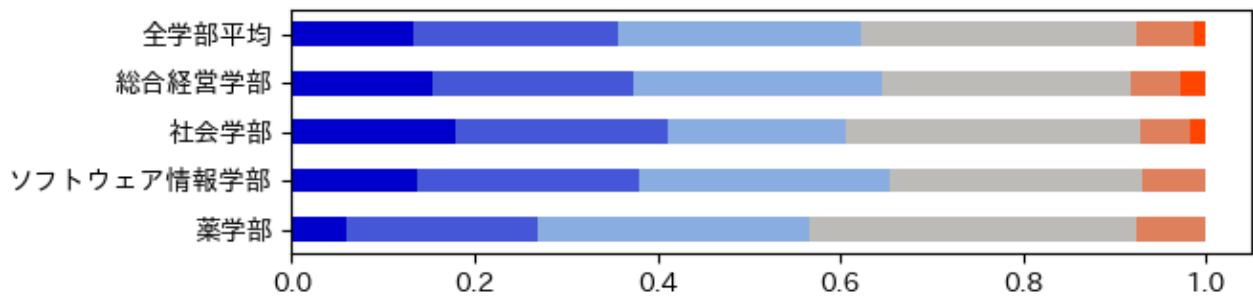


図 6 「3(ア) 心身に関する健康維持について、支援が必要だと思っていますか」の回答分布

学費や生活費等の経済面での支援に対しては、図 7 の回答分布となった。「そう思う」の割合は全学部とも 4 割前後、「どちらかといえば、そう思う」と合わせた割合は薬学部が若干低い。全体では「そう思う」が 41.2%、「どちらかといえば、そう思う」が 31.6 と、支援の必要性が高い。なお、この二つの率は前々回、前回とほぼ同じで、今年度危惧された新型コロナウイルス感染症の影響は回答分布からは見られない。

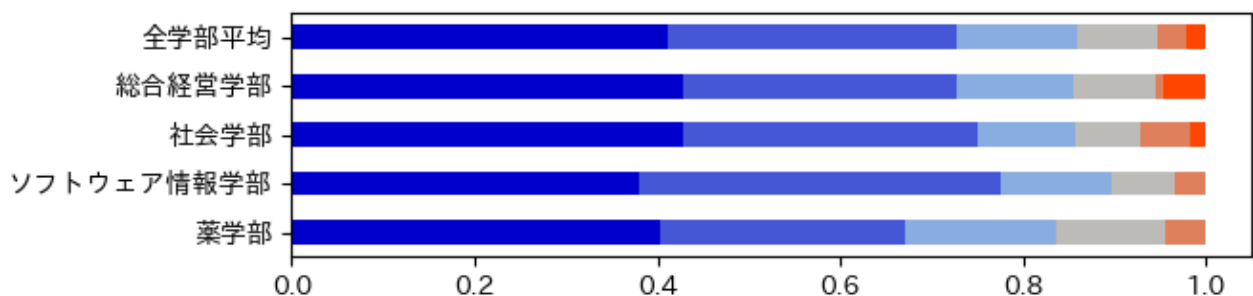


図 7 「3(イ) 経済面 (学費、生活費など) について、支援が必要だと思っていますか」の回答分布

本学は、総合経営学部や社会学部で部活動に取り組んでいる学生が多いが、こうした正課外の活動に関しては、図 8 のようにこれら 2 学部で支援が必要と感じている学生が多い。ただし、前々回はこの 2 学部は同様の傾向を表していたが、前回の調査では社会学部で「そう思う」が 15.82 ポイントもの大きな減少が見られ、今回は変化が見られない。また、薬学部では正課外活動に取り組む学生が少ないためか、「分からない」の割合が高い。前問と同様、新型コロナウイルス感染防止対策のための部・サークル活動を制限した影響を危惧していたものの、回答分布からはとくにその影響が見られない。

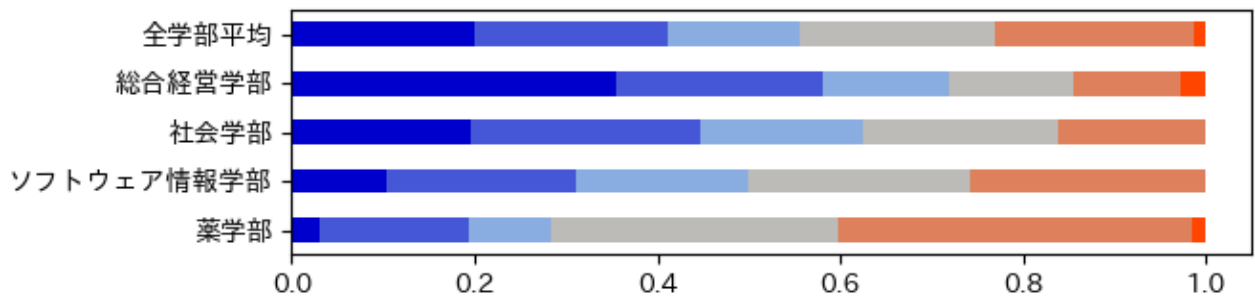


図 8 「3(ウ) 部・サークル活動などの正課外活動について、支援が必要だと思っていますか」の回答分布

他の学生や教職員との人間関係についての支援に対しては、図 9 の回答分布となった。全体的に、前々回から前回にかけては変化が見られなかったが、今回は社会学部とソフトウェア情報学部で「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせた率が数ポイントずつ増加した。全体では、4 割程度が何らかの必要性を感じている。

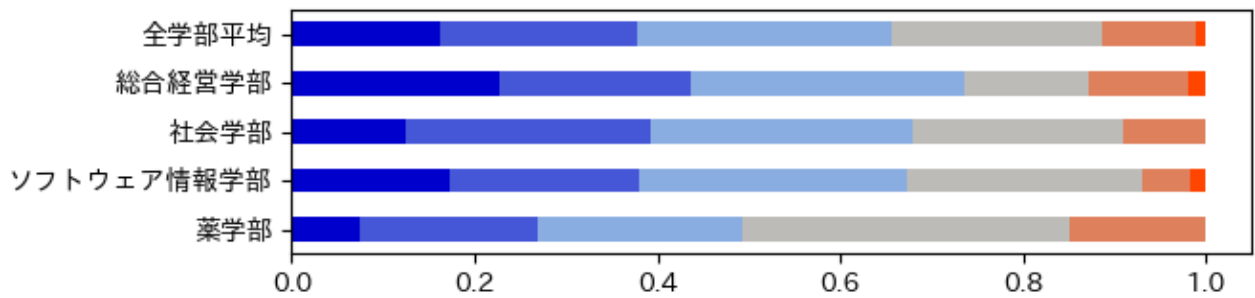


図 9 「3(エ) 他の学生や教職員との人間関係について、支援が必要だと思っていますか」の回答分布

3(ア)～(エ)では対象別に支援の必要性を尋ねたが、(オ)では支援を必要とする学生が、本学が提供している保健室、カウンセリング制度、及び相談窓口の利用を考えるかどうかを確認した。図 10 に見られるように、全学部平均では 7.2%が「そう思う」と回答し、この値は前々回及び前回とあまり違いはない。学部別での「そう思う」の回答割合は、社会学部が 12.5% (5.8 ポイント増)、ソフトウェア情報学部が 8.6% (4.3 ポイント増) と前回より増加し、他 2 学部は数ポイントずつ減少している。2(エ)の学修支援と逆に、何らかの必要性を考えている学生が薬学部で少なくなっている。

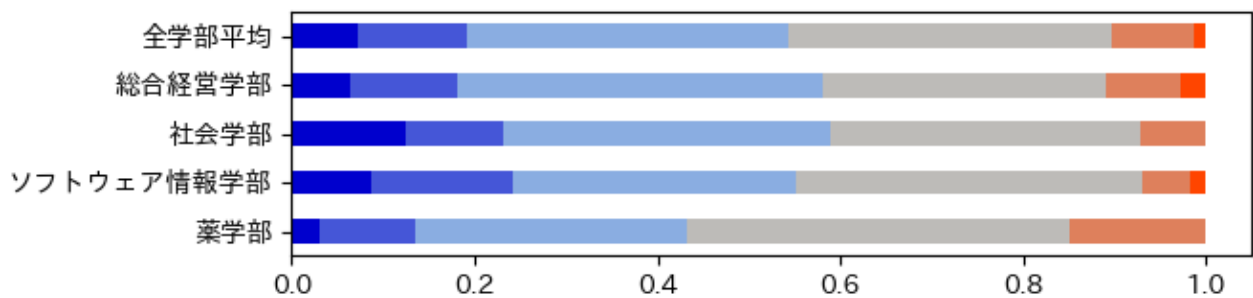


図 10 「3(オ) 保健室やカウンセリング制度、および相談窓口などを利用したいと考えることはありますか」の回答分布

(ア)～(オ)を踏まえ、3(カ)では学生支援全体に対する満足度を尋ねた(図 11)。この質問では、「満足」から「不満」までの4段階と「分からない」の中から回答を選択させた。図 11 の配色は、図 5 と同じく、次のようにしている。

回答内容



全体では「満足」が12.4%と低めのものの、「どちらかといえば、満足」の48.1%を合わせると60.5%が満足している状況が見られた。一方、「分からない」が14.4%と、前回同様に一定の割合居ることが分かった。学年別では、前回と同じく3年次の満足度が低い。

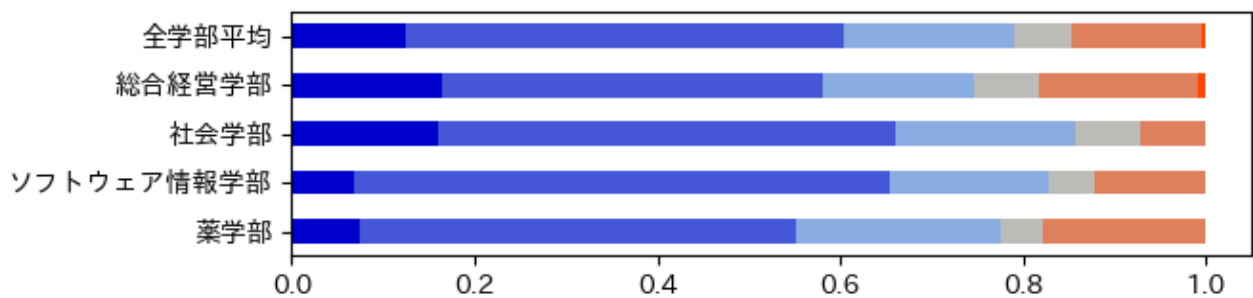


図 11 「3(カ) 本学での支援や環境についての全体的な満足度を、選択肢から選んでください」の回答分布

3(キ)では、前問(カ)の回答理由を自由記述形式で尋ねた。全体の記入率は57.4%と2(カ)と同じくおおくの学生が回答してくれた。「満足」の回答理由には、特待生制度に関するものが多い。「どちらかといえば、満足」では、特待生制度に加えて、教職員の対応の良さが多くあげられている。一方、「不満」や「どちらかといえば、不満」の理由は、環境の悪さや新型コロナウイルス感染防止対策に関する不安についての意見が多くあげられた。

質問 4. 支援体制や学修環境をより良くするための意見やアイデアを自由に書いてください

この設問は、これまでの学修時間・学修行動調査で常に最後に尋ねてきたものである。今回は 75 件の回答が寄せられた。以下に分類とそれぞれの主な内容をまとめる。

- 授業の方法
 - 新型コロナウイルス感染防止対策、授業時の私語対応、授業方法の工夫
- 学生支援
 - 相談しやすい環境の整備、学年をまたぐなど学生間の交流増進
- 施設・設備
 - 授業外学修を行う環境、ネットワーク環境、冷暖房の環境、全体的な施設・設備の改善
- その他
 - 他学生の迷惑行為対策、学生の意見を集約する仕組み

これらの内容は、前回までの学修時間・学修行動調査と同様のものも多い。

なお、この設問（質問 4）の回答と、学修支援に関する満足度の回答理由（質問 2(カ)）、学生支援に関する満足度の回答理由（質問 3(キ)）は、それぞれ個人が特定されないようにした上で、内容を整理して教職員間で共有している。

2020年度「学修状況・満足度調査」(満足度の部分)

2. 「学修支援」の必要性や現状評価について、以下の質問の回答を選択肢から選んでください。

そう思う、どちらかといえばそう思う、あまりそう思わない、そう思わない、分からない

- (ア) 本学で受けている授業の難易度は、全科目を平均するとかなり難しいと思っていますか
- (イ) 難しく理解できない、または授業のペースに追い付けないと感じることはありますか
- (ウ) 学修に関して支援が必要だと思っていますか
- (エ) 学習相談窓口やオフィスアワーなどを利用したいと考えることはありますか

- (オ) 「学修環境」についての満足度を、選択肢から選んでください。

満足、どちらかといえば満足、どちらかといえば不満、不満、分からない

- (カ) 前問の回答理由として、個人的にもっとも影響が大きいことは何か、自由に書いてください

3. 「学生生活に関する支援」の必要性や現状評価について、以下の質問の回答を選択肢から選んでください。

そう思う、どちらかといえばそう思う、あまりそう思わない、そう思わない、分からない

- (ア) 心身に関する健康維持について、支援が必要だと思っていますか
- (イ) 経済面(学費、生活費など)について、支援が必要だと思っていますか
- (ウ) 部・サークル活動などの正課外活動について、支援が必要だと思っていますか
- (エ) 他の学生や教職員との人間関係について、支援が必要だと思っていますか
- (オ) 保健室やカウンセリング制度、および相談窓口などを利用したいと考えることはありますか

- (カ) 本学での支援や環境についての全体的な満足度を、選択肢から選んでください。

満足、どちらかといえば満足、どちらかといえば不満、不満、分からない

- (キ) 前問の回答理由として、個人的にもっとも影響が大きいことは何か、自由に書いてください

4. 支援体制や学修環境をより良くするための意見やアイデアを自由に書いてください